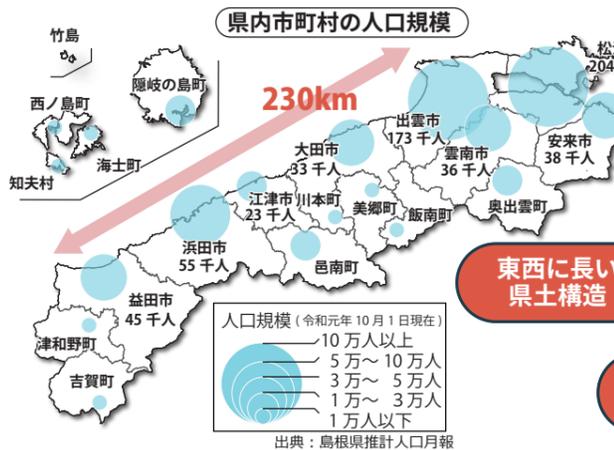


# 島根県の現状と特性

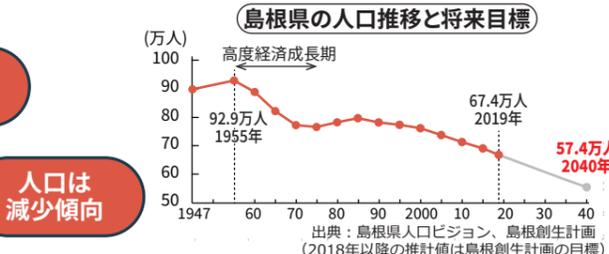
## 県土構造・人口

東西に約230kmと細長く、県土の約8割を山地が占め、急峻な地形や広い範囲で風化花崗岩が露出する等、地質も悪く、土石流や地滑り、がけ崩れが発生しやすい県土構造です。  
沿岸部の7市に人口の約8割が集中しており、山間部や離島には、比較的人口規模の小さい市町村が存在しています。  
また、県内の人口は昭和30年の93万人をピークに減少しており、今後も人口は減少していく傾向にあります。



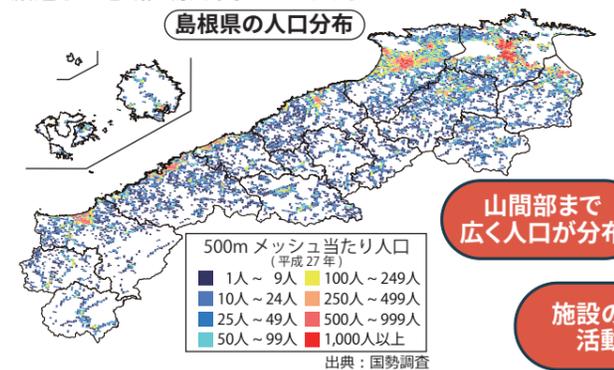
**土砂災害危険箇所数**

順位	県名	土石流危険渓流	急傾斜地崩壊危険箇所	地すべり危険箇所	合計
1	広島県	9,964	21,943	80	31,987
2	島根県	8,120	13,912	264	22,296
3	山口県	7,532	14,431	285	22,248
	全国	183,863	330,156	11,288	525,307



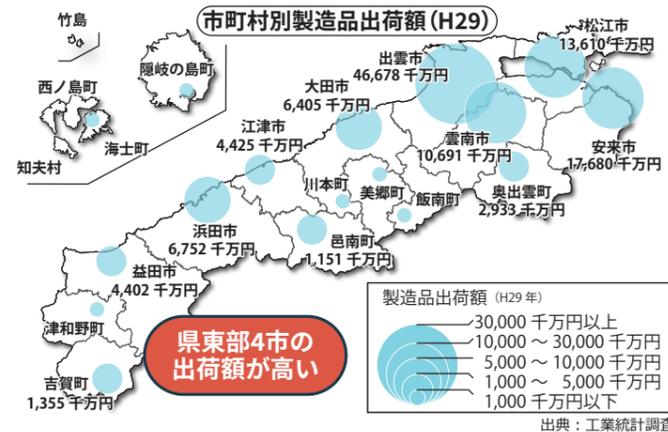
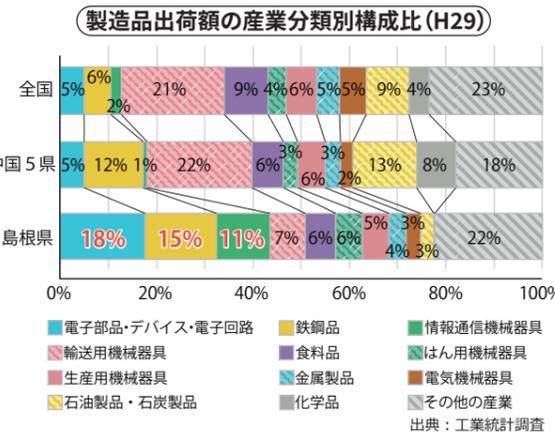
## 生活

中山間地域が県土面積の約9割を占め、県民の約半数が生活しています。  
小規模な集落が県下全域に渡って点在していますが、過疎化の進行により、暮らしに必要な不可欠である学校、商店、医療機関、金融機関等の閉鎖や統合が進んでおり、日常生活を維持するための活動範囲が拡大傾向にあります。  
これらの地域の医療は、医師不足や開業医の高齢化・後継者不足が深刻な状況にあり、都市部の医療機関から医師を派遣して地域医療を支えています。



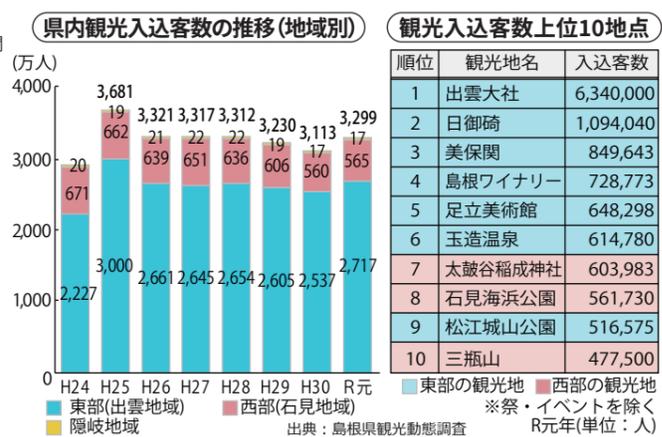
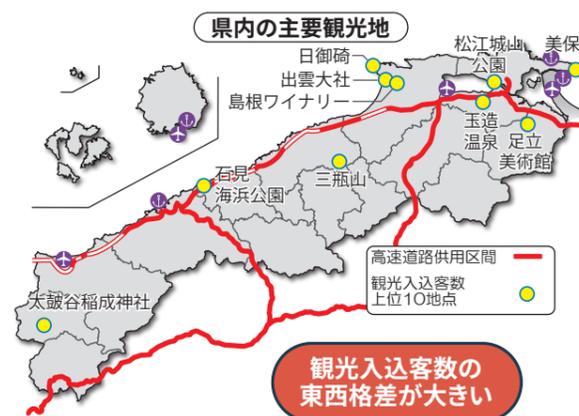
## 産業・物流

本県の製造品出荷額は約1兆1,720億円であり、全国平均や中国5県平均と比べ、電子部品や鉄鋼品、情報通信機械器具が占める割合が高くなっています。  
地域別では、高速道路の整備が進んでいる県東部の4市(松江市、出雲市、安来市、雲南市)で全体の約8割を占めています。



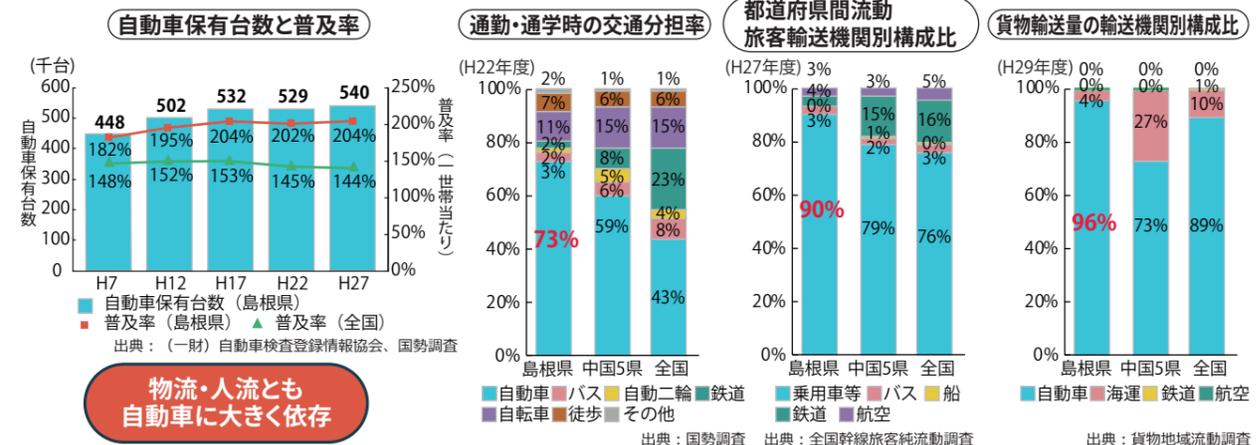
## 観光

東部に国宝松江城・出雲大社、西部に世界遺産石見銀山、隠岐にはユネスコ世界ジオパークなど県内各地に魅力ある観光地を有しています。  
平成25年の出雲大社「平成の大遷宮」を契機に、観光入込客数は大きく増加しましたが、その後は伸び悩んでいます。  
また、県東部は県西部と比べ主要な観光地が多く、交通網が発達していることから東西で格差が生じています。



## 交通

鉄道網の未発達や廃線により、日常生活における交通手段は自動車に大きく依存しています。  
物流や観光においても、海運、鉄道、航空と比べ、自動車の占める割合が高い水準です。



## 予算

道路予算は平成10年度をピークに約半減した後、横ばい傾向で推移しており、厳しい状況が続いています。  
限られた予算での事業展開が継続する状況下において、選択と集中の徹底を図り、ストック効果の高い事業や老朽化する既存施設の長寿命化、災害から命を守る落石対策などの防災事業を進めています。

